妊娠中の皆様へ

令和8年4月1日から
RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まりました

RSウイルス感染症とは

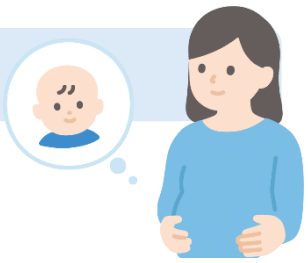
RS ウイルス感染症は、RSウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症です。生後 1 歳までに半数以上が、2 歳までにほぼ 100%の児が RS ウイルスに少なくとも 1 度は感染するとされています。

症状は、発熱、鼻汁などの軽い風邪の症状から重い肺炎まで様々です。特に生後6か月以内にRSウイルスに感染した場合は、細気管支炎や肺炎など重症化する場合があります。

RSウイルス母子免疫ワクチンについて

妊婦さんが接種することで、お母さんの体内で抗体が作られ胎盤を通じて赤ちゃんに移行し、生後数か月間の赤ちゃんのRSウイルス感染を予防するワクチンです。

定期接種について



＊令和8年4月1日開始＊

対象者	伊東市に住民登録のある**妊娠28週0日から36週6日までの間の**妊婦
接種ワクチン	組換えRSウイルスワクチン「アブリスボ筋注用」 0．5ml を1回筋肉内注射
接種費用	無料
実施医療機関	伊豆いとうレディースクリニック【要予約】　℡　0557-52-6345
	上山レディースクリニック　℡　0557-45-8103
	よこやまファミリークリニック　℡　0557-36-5577

母子手帳交付時に予診票をお渡しします

母子手帳交付時に予診票等をお渡しします。
伊東市実施医療機関以外で予防接種をご希望の場合は、事前の申請が必要です。下記担当までご連絡ください。令和 8 年 4 月 1 日時点で対象の方にはハガキを郵送します。

裏面もご覧ください

【RSウイルスワクチン接種に関するQ＆A】



RSウイルス感染症について

Q. RSウイルスはどのように感染しますか？

A. 接触感染と飛沫感染で広がります。接触感染は、RSウイルスに感染している人との直接の接触や、感染者が触れたことによりウイルスがついた手指や物品(ドアノブ、机、いす、コップ、おもちゃ等)を触ったり、なめたりすることで感染します。また、飛沫感染は、RSウイルスに感染している人が咳やくしゃみなどをした際に口から飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことにより感染します。
学校や保育所・幼稚園等でRSウイルスに感染する例が多くみられるため、小児を通じて、家庭内で感染が拡大する可能性もあります。

Q. RSウイルスの発生状況はどのような状況ですか？

A. RSウイルス感染症は、近年は夏から増加傾向となり秋にピークがみられていました。
一方、2021年以降は春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークがみられています。

ワクチンについて

Q. 妊娠27週6日以前または妊娠37週0日以降の接種はできますか？

A. 定期接種として無料で接種できるのは、妊娠28週0日～36週6日の間です。その期間以外での接種は、定期接種と認められず全額自費（30，000円～35，000円程度）となります。

Q. ワクチン接種してから、胎児に抗体が移行するまで、どのくらいの期間がかかりますか？

A. 接種後、14日以内に出生した場合、お母さんから赤ちゃんへの抗体移行が不十分になり、ワクチンの効果が確立されていません。妊娠39週までに妊娠終了を予定している場合は、その14日前までに接種を完了させることが望ましいです。



接種方法について

Q. 伊東市外で接種する場合はどうしたらようですか？

A. 接種予定日の1週間以上前に健康推進課へご連絡ください。必要な書類を発行します。（即日発行はできません。）事前のご連絡なしで伊東市外で接種を受けた場合は、全額自己負担となります。

Q. 伊東市外へ住民票を移す予定があります。伊東市の予診票は使えますか？

A. 接種日に伊東市に住民登録がない場合は、伊東市発行の予診票は使用できません。新住所地に転出した日以降に伊東市の予診票で接種した場合、全額自費（30，000円～35，000円程度）となります。接種方法については、転出先の住民票所在地へお問い合わせください。

伊東市健康推進課　予防接種担当　電話:0557－32－1584